

【高等学校用】

令和5年度学校評価計画

学校評価表作成について変更した点は朱書きしています

達成度（評価）
 A：十分達成できている
 B：おおむね達成できている
 C：やや不十分である
 D：不十分である

様式1(高等学校)

学校名	佐賀県立佐賀農業高等学校
1 前年度 評価結果の概要	<p>○基本的な生活習慣の確立と生活マナー等の向上については、アンケートの結果から見ても多くの生徒が意識をもって学校生活を送ることができているようである。今後も、さらに他者への思いやりの心を持ち、自主的な取り組みができるように指導・支援に努めていく必要がある。</p> <p>○学校・学科の魅力づくりについては、アンケートの結果から全体の9割近くの生徒たちが本校での学習に満足しているようである。今後も専門性を活かし、地域との連携を図りながら、グローバルな人材の育成や部活動の活発化などの取り組みを充実させていく必要がある。</p> <p>○業務改善・働き方改革の推進については、時間外勤務の削減に向けて職員一人ひとりが意識することが必要である。特に、部活動の指導での超過勤務となってしまうことが多いようなので、指導体制の改善を図り、声をかけながら職員の意識改革に努める必要がある。</p>
2 学校教育目標	<p>教育理念：「農は国の基」 校訓：「質実剛健、明浄真正」</p> <p>教育目標：「農業の専門教育を柱とし、さまざまな教育活動をととして、地域社会に貢献できる有為な人材を育成する。」</p>
3 本年度の重点目標	<p>スローガン：「汗をかき 人と和して 己を磨く」 ～地域に根ざすグローバル人材の育成をめざして～</p> <p>(1) 「爽やかな挨拶」の実践と「生活マナー・コミュニケーション能力」の向上に努める。</p> <p>(2) 学び合う学舎、学びたい学舎をめざし、「学校・学科の魅力づくり」を推進する。</p>

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価				主な担当者
(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○学力向上につながる学びへの意識向上	○「学びの時間」に主体的に取り組む生徒90%以上をめざす	・「学びの時間」の充実に向けた雰囲気づくりと指導体制の確立に努める ・基礎学力の向上のため、小テストの事後指導の充実と徹底を図る ・学習する場を整えることの大切さを意識させ、HR並びに実習の場などを含め、あらゆる場面での生徒への声かけと意識涵養に努める							
	○学びの場の整理整頓	○身の周りの整理・整頓を意識する生徒90%以上をめざす	・落ち着いた雰囲気を保ち授業を実施する ・授業公開週間を設定し、参考となる点や課題、生徒の様子等の情報共有を行い、全体的な授業力の向上につなげる ・各種研修会への積極的な参加と、職員相互の授業研究を推進する							
●心の教育	○職員の授業力の向上 (わかる授業の実践)	○生徒のアンケートで、授業満足の割合を85%以上をめざす ○「わかる授業づくり」を意識する職員90%以上をめざす	・日々のHR活動や実習等を通し、命の大切さへの理解と、他者との関わり方に向けた体験活動や指導を充実させる ・全校ボランティアや異年齢交流や人権・同和教育に関する講演並びにHR等をととして、充実を図る							
	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○他者への「思いやり」や「優しさ」に配慮した言動をとる生徒90%以上をめざす	・兆候を見逃さず各学期始めに個人面談や定期的なアンケートを実施することにより、早期発見と早期対応に努める ・積極的ないじめ認知に努める ・「いじめ防止の標語づくり」と校内への掲示 ・生徒が相談しやすい関係づくりに努め、いじめ事案に対する組織的な対応の徹底を図る							
●健康・体づくり	④「安全に関する資質・能力の育成」	○農業実習や部活動等での生活事故の前年比半減、登下校時の交通事故0(ゼロ)をめざす	・生活事故防止に向けた研修会等を実施し、生徒・職員の安全確保に向けた意識を高める ・自転車マナーの向上と交通事故防止に向け、登下校時の安全指導と交通講話等の充実を図る							
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・定期退勤日の設定(水曜日)と呼びかけ ・部活動休養日(2日間)の設定 ・部活動顧問を複数人体制をとり、交替で休養をとるように呼びかける ・出勤管理システムを活用し、自らの働き方振り返りと見直し(効率化、時間外削減)を、さらに推進する							
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目										
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○基本的な生活習慣の確立並びに「マナーとコミュニケーション能力」の向上	○明るく・爽やかな挨拶の実践と生活マナー(身だしなみ・礼儀など)の向上 ○コミュニケーション能力の向上	○身だしなみを整え、自ら主体的に挨拶ができる生徒90%以上をめざす ○挨拶や礼儀マナー、他者との関わり方が上達したと感じる職員90%以上をめざす	・生徒への積極的な声かけや関わりを通して、生徒・職員間の関係づくりに努める ・HRや授業で、時間やルールの順守と挨拶や身だしなみの大切さを繰り返し伝える ・さまざまな活動や場面を通して、「伝える力・聴く力・相手の思いを読み解く力」の育成に務める							
○魅力ある学校・学科づくり	◎佐賀への誇りと期待を胸に、高い志を持って地域に関わっていきこうとする教育活動	○「佐賀に誇りを持ち、地域に関わっていきこうとする」生徒90%以上をめざす ○県内就職率70%以上をめざす	・地域と連携する活動や交流活動を実施する ・地域をテーマとするフィールドワークや探究活動を充実させる ・県内企業説明会への参加と県内事業所を招聘しての進路ガイダンス(複数回)を実施する							
	★グローバルな学びの推進 「地域農業を課題とする探究活動」並びに「コミュニケーションツールとしての英語力向上」を柱とする取組	★自分の学校を中学生に進めることができる生徒の割合90%以上、教職員の割合100%をめざす ○地域の課題を踏まえた探究活動やプロジェクト研究活動に意欲的に取り組む生徒60%以上をめざす ○積極的に英語でコミュニケーションをとろうとする生徒60%以上をめざす ○各学科の専門学習へ興味関心をもって取り組む生徒90%以上をめざす ○資格取得者数の延べ600人以上をめざす ○県内外の優良企業への就職者の増、官公庁へ20名以上の就職、国立大学への合格者をめざす ○生徒の出身中学校や保護者へ学校だより月1回以上の発行をめざす	・1年次「総探」の個人研究を足掛かりに、2年、3年次の「課題」の充実につなげる ・英語の授業充実に加え、留学生、ALT等との交流、学校農業、語学研修等にも積極的に取り組む ・「スマート農業・地域連携での新商品開発・ドローンや3D測量解析の活用」等、各学科の特色ある取組の充実を図る ・資格取得指導の充実に向けて、指導体制の強化と担当者の指導力向上を図る ・出口指導の確立に向けて、職員の意識向上を柱に、各学科・3学年・進路指導部の連携強化、そして進路検討会の充実を図る ・細目に記録し、最新情報掲載に努める							

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり

5 総合評価・次年度への展望	
----------------	--